



安全データシート

この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠している

改訂日 09/25/2025

改訂番号 1.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 CIDEZYME™ 酵素洗淨剤

安全データシート番号 100000000017

安全データシートの供給者の詳細

供給者:

ASP Japan 合同会社
東京都港区港南 2 丁目 15 番 2 号
品川インターシティ B 棟 6 階

電子メールアドレス ASP-SDS@asp.com

緊急連絡電話番号

24 時間対応緊急時電話番号 CHEMTREC: 0800-300-5842

CHEMTREC Global: 1-800-424-9300

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 洗剤. 職業的使用に限る.

使用上の制限 知見なし.

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

呼吸器感作性

区分 1 - H334

GHS ラベル要素



注意喚起語 危険

危険有害性情報

吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ

注意書き

安全対策

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること

応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること

廃棄

内容物、容器を国際、国、都道府県、及び市町村の規則に従って廃棄すること

他の危険有害性

他の危険有害性

情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
プロピレングリコール	57-55-6	10 - <20	既存	(2)-234	既存	2-(8)-321
四ホウ酸ナトリウム（十水和物）	1303-96-4	<10	既存	(1)-69	既存	(1)-69
サチライシン	9014-01-1	<10	情報なし	情報なし	既存	11-(2)-227

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）

変換係数のデータが無い場合は係数は 1 として算出

第 1 種指定化学物質

ホウ素化合物、B として

重量%

0.338887

化学名又は一般名	政令名称	金属, 変換係数	含有率 %	区分	政令番号	管理番号
*	四ホウ酸ナトリウム（十水和物）	as B, 0.113	2.999	クラス 1	1-458	405

*政令名称を参照

労働安全衛生法

通知対象物質

法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9 及び第 3 号・別表第 3

化学名又は一般名	CAS 番号	政令番号	含有率 %
四ホウ酸ナトリウム（十水和物）	1303-96-4	9-544	<10
サチライシン	9014-01-1	9-186	<10

表示対象物質

法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号・別表第 9 及び第 3 号・別表第 3

化学名又は一般名	CAS 番号	政令番号	含有率 %
四ホウ酸ナトリウム（十水和物）	1303-96-4	9-544	<10

毒物及び劇物取締法: 該当しない

4. 応急措置

一般的なアドバイス

治療を行う医師にこの SDS を示すこと。

吸入した場合

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸が困難な場合には、（資格のある者が）酸素吸入を行うこと。負傷者が本製品を飲み込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。一方向弁付きポケット・マスク又は他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。症状が出た場合には医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

石けん（鹼）と水で洗うこと。皮膚の炎症又はアレルギー性反応が認められる場合には、医師の診察を受けること。

眼に入った場合

直ちに水で数分間洗うこと。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。症状が生じた場合は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。感作を引き起こす。刺激性。発赤。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

粉じんを吸入しないこと。医療者に物質の関与を伝え、自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。指定された個人用保護具を着用すること。詳細については項目 8 を参照。

医師に対する特別な注意事項

症状は遅発性の場合がある。症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤

火が広がる恐れがあるため、消火器としてウォータージェットを使用しないでください。

特有の危険有害性

製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。吸入により感作を引き起こすことがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人員を安全な区域に退避させること。人員を漏出／漏えい（洩）の風上に遠ざけること。十分換気されているか確認すること。蒸気やミストを吸入しないこと。指定された個人用

保護具を着用すること。詳細については項目 8 を参照。

緊急対応を行う者のための保護具

項目 8 で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい（洩）又は漏出を防ぐこと。重大な流出を封じ込めることができない場合には、地方自治体に報告しなければならない。製品が排水路に入らないようにすること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収して適切に表示された容器に移すこと。後で廃棄するためにバーミキュライト、砂又は土などの不燃性材料を用いて製品をすくい取り容器に入れること。製品の回収後、区域を水で洗い流すこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。十分に換気すること。個人用保護具を使用すること。

衛生対策

汚染された衣類及び手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯すること。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。適切な手袋及び眼／顔面保護具を着用する。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。推奨保管温度：15～30°C。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学物質名	ACGIH TLV	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度
プロピレングリコール 57-55-6	TWA: 10 mg/m3	-	-
四ホウ酸ナトリウム（十水和物） 1303-96-4	TWA: 2 mg/m3 (吸引性粒子状物質) STEL: 6 mg/m3 (吸引性粒子状物質)	-	-

生物学的職業性ばく露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策

シャワー；洗眼場；換気システム。

環境ばく露防止

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい（洩）又は漏出を防ぐこと。重大な流出を封じ込めることができない場合には、地方自治体に報告しなければならない。製品が排水路に入らないようにすること。

保護具

呼吸器の保護	換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	適切な手袋を着用する。ニトリルゴム。
眼及び／又は顔面の保護具	サイドシールド付き保護眼鏡（又はゴーグル）を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。耐薬品性エプロン。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態	液体。
色	無色透明。紫色。
臭い	ミントのような。
臭いのしきい値	情報なし。

特性	値	備考・方法
融点		データなし
沸点		データなし
可燃性		引火性でない
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		
爆発又は可燃の上限界	データなし	引火性でない
爆発又は可燃の下限界	データなし	引火性でない
引火点	> 94° C	
蒸発速度	データなし	知見なし
自然発火点		引火性でない
分解温度	> 100° C	
pH	7.8 - 8.8	
動粘性率		データなし
動的粘度	データなし	知見なし
水への溶解度		水に可溶
溶解度	データなし	知見なし
分配係数		データなし
蒸気圧	データなし	知見なし
相対密度	1.09	
かさ密度	データなし	知見なし
相対ガス密度	1	
粒子特性		
粒径	データなし	知見なし
爆発特性	爆発性なし。	
酸化特性	酸化性なし。	

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件下で安定。
化学的安定性	推奨される保管条件下で安定。

危険有害性反応の可能性	通常の条件下で安定。
避けるべき条件	熱、炎及び火花、霜、混触危険物質。
混触危険物質	強酸化剤、強酸、及び強塩基、還元剤。
危険有害性分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素（CO ₂ ）。

11. 有害性情報

急性毒性

以下の値は GHS 文書の第 3.1 章に基づいて算出されている

成分情報

化学名又は一般名	経口	経皮	吸入
プロピレングリコール 57-55-6	経口 LD50: 22,000 mg/kg - ラット	-	-
四ホウ酸ナトリウム（十水和物） 1303-96-4	経口 LD50: > 2,500 mg/kg - ラット	経皮 LD50: > 2,000 mg/kg - ウサギ	-
サチライシン 9014-01-1	経口 LD50: 1,800 mg/kg - ラット	-	-

症状 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ、感作を引き起こす、刺激性、発赤。

製品情報

経口 「吸入」の項目に記載されている追加的影響を生じるおそれ。

吸入 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

皮膚に付着した場合 皮膚刺激のおそれ。

眼接触 一時的な眼刺激を引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性／皮膚刺激性 敏感な人に皮膚刺激を引き起こすおそれがある。

成分情報

四ホウ酸ナトリウム（十水和物）(1303-96-4)

方法	種	ばく露時間	結果	備考
-	ウサギ	72 h	通常の使用中は非刺激性	-

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 一時的な眼刺激を引き起こすおそれがある。

成分情報

四ホウ酸ナトリウム（十水和物）(1303-96-4)

方法	種	ばく露時間	結果	備考
OECD 405	ウサギ	14 d	眼に対する重篤な刺激	-

			性	
--	--	--	---	--

皮膚感作性 区分に該当しない。

呼吸器感作性 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

成分情報

四ホウ酸ナトリウム（十水和物）(1303-96-4)

方法	種	ばく露経路	試験タイプ	結果	備考
OECD 406	モルモット	-	-	実験動物に感作は生じなかった	-

生殖細胞変異原性 区分に該当しない。

発がん性 区分に該当しない。

生殖毒性 生殖毒性を示すことが知られている又は疑われる物質を含んでいる。生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分に該当しない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分に該当しない。

神経影響 情報なし。

吸引性呼吸器有害性 区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性 危険有害性でない。

成分情報

化学名又は一般名	藻類／水生植物	魚類	微生物に対する毒性	甲殻類
サチライシン 9014-01-1	ErC50 0.83 mg/l (72 h, Pseudokirchneriella subcapitata)	NOEC 0.042 mg/l (32 d, Oncorhynchus mykiss (ニジマス))	-	EC50 0.172 mg/l (48 h, オオミジンコ) NOEC 0.324 mg/l (21 d, Daphnia magna (オオミ ジンコ))

残留性・分解性 易生分解性。

方法	試験タイプ	ばく露時間	値	結果
-	-	-	-	易生分解性

生態蓄積性 生物蓄積しないと予想される。

成分情報

化学名又は一般名	分配係数
プロピレングリコール 57-55-6	-1.07
サチライシン 9014-01-1	-3.1

土壌中の移動性 情報なし.

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること. 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること.

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと.

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外

IATA 規制対象外

ADR 規制対象外

15. 適用法令

国際規則

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)

該当する

四ホウ酸ナトリウム (十水和物) 1303-96-4

労働安全衛生法

製造禁止物質等 : 該当しない

製造許可物質等 : 該当しない

特定化学物質等 (特化則) : 該当しない

健康診断を要する有害物質 : 該当しない

特定化学物質等 (特化則) : 該当しない

鉛中毒予防規則 : 該当しない

四アルキル鉛中毒予防規則 : 該当しない

特別管理物質 : 該当しない

表示対象物質

法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号・別表第 9 及び第 3 号・別表第 3

四ホウ酸ナトリウム (十水和物) 1303-96-4

通知対象物質

法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9 及び第 3 号・別表第 3

四ホウ酸ナトリウム (十水和物) 1303-96-4

サチライシン 9014-01-1

労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度 : 該当しない

がん原性に係る指針対象物質 : 該当しない

腐食性液体: 該当しない

毒物及び劇物取締法: 該当しない

火薬類取締法: 該当しない

高圧ガス保安法: 該当しない

消防法

引火性液体、第 4 類、第 3 石油類、水溶性液体、危険等級 III、4000 リットル

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）

優先評価化学物質

プロピレングリコール 57-55-6

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律: 該当しない

労働基準法: 該当しない

化学兵器禁止法: 該当しない

水質汚濁防止法

水質汚濁防止法第 2 条及び水質汚濁防止法施行令第 2 条で定める有害物質

四ホウ酸ナトリウム（十水和物） 1303-96-4

廃棄物の処理及び清掃に関する法律: 該当しない

下水道法

下水道法第 12 条の 2 及び下水道法施行令第 9 条の 4

四ホウ酸ナトリウム（十水和物） 1303-96-4

水道法

水道法第 4 条、法定水質基準

四ホウ酸ナトリウム（十水和物） 1303-96-4

大気汚染防止法

大気汚染防止法第 2 条、第 1 項、第 3 号及び大気汚染防止法施行令第 1 条で定める有害物質（HAP）

四ホウ酸ナトリウム（十水和物） 1303-96-4

特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律: 該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約: 該当しない

ロッテルダム条約: 該当しない

国際インベントリー

米国有害物質規制法

全ての成分は、TSCA インベントリーに記載されている

カナダ非国内物質リスト

この製品のいかなる成分も、DSL 又は NDSL に記載されていない

欧州既存商業化学物質インベントリー

この製品のいかなる成分も、欧州既存商業化学物質インベントリー（EINECS）に記載されていない

欧州届出化学物質リスト

この製品の成分で、欧州届出化学物質リスト（ELINCS）に記載されているものはない

欧州もはやポリマーとはみなされない物質リスト	この製品の成分で、欧州もはやポリマーとはみなされない物質リスト（NLP）に記載されているものはない
AIIC - オーストラリア既存工業化学物質インベントリ	この製品のすべての成分は、オーストラリア工業化学物質インベントリ（AIIC）に記載されている
IEGSC - 中国現有化学物質名録	この製品のすべての成分は、中国現有化学物質名録（IEGSC）に記載されている
ENCS - 化審法既存物質	この製品のいかなる成分も、日本（ENCS）のインベントリに記載されていない
ISHL - Japan Industrial Safety and Health Law	すべての成分がインベントリに記載されているわけではない
KECL - 韓国既存化学物質目録	この製品のすべての成分は、韓国（ECI）のインベントリに記載されている
NZIoC - ニュージーランド化学物質インベントリ	この製品のすべての成分は、ニュージーランド（IoC）のインベントリに記載されている
PICGS - フィリピン化学品・化学物質インベントリ	この製品のすべての成分は、フィリピン（PICGS）のインベントリに記載されている
TCSI - 台湾既存化学物質インベントリ	この製品のすべての成分は、台湾（TCSI）のインベントリに記載されている

16. その他の情報

発行日 09/25/2025

改訂日 09/25/2025

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例
凡例

ACGIH (American Conference of Governmental Industrial Hygienists : 米国産業衛生専門家会議)

A1 - ヒトに対して発がん性が確認された物質

A2 - ヒトに対して発がん性が疑われる

A3 - 動物発がん性物質

国際がん研究機関

グループ 1 - ヒトに対する発がん性がある

グループ 2A - ヒトに対する発がん性がおそらくある

グループ 2B - ヒトに対する発がん性が疑われる

凡例 8 : ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA (時間加重平均)	STEL	STEL (短時間ばく露限度)
天井値	最大限界値		

凡例 インベントリ

|b TSCA |b0 - 米国有害物質規制法セクション 8(b)、インベントリ

DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト／非国内物質リスト

|b EINECS/ELINCS |b0 - 欧州既存商業化学物質インベントリ／欧州新規届出商業用化学物質リスト

ENCS - 化審法既存物質

IEGSC - 中国現有化学物質名簿

KECL - 韓国既存化学物質目録

PICGS - フィリピン化学品・化学物質インベントリ

AIIC - オーストラリア既存工業化学物質インベントリ

NZIoC - ニュージーランド化学物質インベントリ

本 SDS の編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)
米国環境保護庁 ChemView データベース
欧州食品安全機関 (EFSA)
欧州化学品庁 (ECHA) リスク評価委員会 (ECHA_RAC)
欧州化学品庁 (ECHA) (ECHA_API)
EPA (米国環境保護庁)
EPA (米国環境保護庁)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース (IUCLID)
製品評価技術基盤機構 (NITE)
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構 (NICNAS)
NIOSH (米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館 ChemID Plus (NLM CIP)
米国医学図書館の PubMed データベース (NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム (NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース (CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠している

免責事項

この SDS に記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい（洩）時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります

以上